

次の計算をしなさい。なお、解答に当たっては計算の過程も記述なさい。筆算する場合は下の空欄を使いなさい。

1. $(+3) + (+2) =$

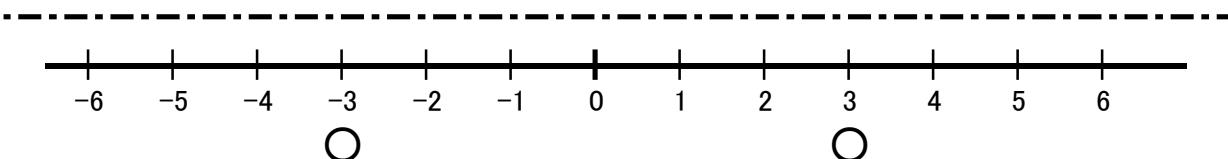
2. $(+3) - (+2) =$

3. $(+3) + (-2) =$

4. $(-3) + (+2) =$

5. $(-3) + (-2) =$

6. $(-3) - (-2) =$



考え方

1. 機械的な説明

()を外した式を書く \Rightarrow 同じ記号が続くときは、「+」、異なる記号が続くときは「-」に置き換える
 \Rightarrow 初めの数字に立って、記号が「+」なら右へ、「-」なら左へ移動

2. 貯金と借金

正の数、負の数の +・- は、「符号」 : +は貯金、-は借金
 加える、引くの +・- は、「演算記号」 : +は加わる、-は減る

$3 + (+2)$	\Rightarrow	貯金が加わる	\Rightarrow	貯金が増える
$3 + (-2)$	\Rightarrow	借金が加わる	\Rightarrow	貯金が減る
$3 - (+2)$	\Rightarrow	貯金が減る		
$3 - (-2)$	\Rightarrow	借金が減る	\Rightarrow	貯金が増える
$-3 + (+2)$	\Rightarrow	借金に貯金が加わる		
$-3 + (-2)$	\Rightarrow	借金に借金が加わる		
$-3 - (+2)$	\Rightarrow	借金があり貯金が減る		
$-3 - (-2)$	\Rightarrow	借金があり借金が減る		

3. 数直線上の歩行

正の数、負の数の +・- は、「符号」 :

加える、引くの +・- は、「演算記号」 :

第1項目の数に立つ	\Rightarrow	第2項目が正の数の時	\Rightarrow	右に向く
	\Rightarrow	演算記号が「+」の時	\Rightarrow	前(右)に行く
	\Rightarrow	演算記号が「-」の時	\Rightarrow	後ろ(左)に行く
	\Rightarrow	第2項目が負の数の時	\Rightarrow	左に向く
	\Rightarrow	演算記号が「+」の時	\Rightarrow	前(左)に行く
	\Rightarrow	演算記号が「-」の時	\Rightarrow	後ろ(右)に行く

4. ひき算

数直線上の差を考える \Rightarrow 第1項が第2項より大きいとき \Rightarrow 差は正の数
 \Rightarrow 第1項が第2項より小さいとき \Rightarrow 差は負の数

\Rightarrow 第1項と第2項の数直線上の距離を数えて、第1項と第2項の大きさを比較して符号をつける

$3 - (+2)$	\Rightarrow
$3 - (-2)$	\Rightarrow
$-3 - (+2)$	\Rightarrow
$-3 - (-2)$	\Rightarrow